

児童生徒が調べたことや考えなどを発表する場面等でプレゼンテーションソフトを活用する機会が増えてきました。目的や相手に応じた資料作成の経験を積むほど、その有能性を実感したり、他の表現方法との違いを見いだしたりすることができるようになって考えられます。発信する力を高めていくためには、児童生徒が資料作成のポイントに気づき、汎用的に活用できるようになることが大切です。

(1) 浅口市立鴨方西小学校6年生の取組から

総合的な学習の時間「鴨方の魅力をPR」の単元の導入において、まず各自で簡単な「PRスライド」を作成する体験を行いました。その中のいくつかの場面に注目して、指導のポイント等を考察します。



友達に教えてもらって、操作を覚えることができた！

操作で困ったときは友達同士で教え合う。また、実現したい操作をインターネットで検索し、自力解決することも貴重な経験である。



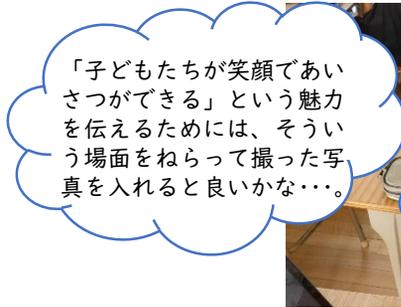
この場合は、全体が映っている画像の方が良いな。

インターネットを活用して適した画像をスライドに取り入れる。児童は、学習・生活経験等を想起し、その効果を思考していると考えられる。



この情報はぜひ伝えたい！

伝えたい情報をまとめる際、初めは原稿そのままの書きぶりになりがちであるので、実際のプレゼンテーションのスライドと比較する活動などを通して、改善点に気づくことがポイントになる。



「子どもたちが笑顔であいさつができる」という魅力を伝えるためには、そういう場面をねらって撮った写真を入れると良いかな…。

スライドを紹介し合う場面では、視点をもって聞き、気づきを伝え合うことがポイントになる。また、個々の気づきを全体で共有し、汎用的に活用できるようにまとめることも大切である。

プレゼン資料作成のポイント

- ・画像は意図に合うか、よく検討する（必要に応じて撮影、検索など）
- ・スライドは、キーワードでまとめる（原稿と区別する）
- ・相手や目的に応じた表現の工夫に気を配る

(2) 参考Webサイト

- ・[令和3年度おかやま学びたい賞 最優秀賞・優秀賞紹介サイト](#)
- ・令和3年度戸田市（埼玉県）プレゼン大会（YouTube）
[小学生の部 金賞 芦原小学校](#)
[中学生の部 金賞 戸田東中学校](#)
 ※以上のサイトでは、プレゼンテーションの動画が視聴できます。スライドのまとめ方だけでなく、構成や発表の方法等も参考にすることができます。
- ・NHK for School
 「しまった！～情報活用スキルアップ～とは？」
[プレゼンテーションを作る](#)

上記の場面からポイントをまとめた例